

第39回「部落差別をなくする運動」強調旬間in黒潮町

〔7月11日(水)～21日(土)〕

部落差別とは

日本固有の人権問題である部落差別は、憲法が保障する基本的人権に関わる重要な問題です。

1965(昭和40)年の「同和対策審議会答申」以来、旧大方町と旧佐賀町では、部落差別の解決のために積極的に取り組んできました。その結果、住環境整備や産業振興などの主要なハード事業は、いくつかの課題を残しつつもおおむね完了し、一定の成果を収めることができました。

しかし、人々の観念や潜在意識に関わる心理的差別については、着実に解消へ向けて進んでいるものの、結婚問題を中心に依然として根深く存在しています。このことは、2005(平成17)年・2006(平成18)年に実施した住民意識調査の結果をみても明らかです。今後は、この心理的差別の解消を目指し、これまでの同和教育や啓発活動によって積み上げられてきた成果とこれまでの手法への評価を踏まえて、他のさまざまな人

権課題との関連を考慮しながら、教育・啓発を中心に部落差別の解決をめざしていくことが必要とされています。

期間中の行事

この期間、総合センター(佐賀支所前)で写真などの特別展示や講演会を行います。入場は、すべて無料です。皆さんのお越しをお待ちしています。

◆特別展示「リバティー」

▼解放子ども会の活動紹介 ▼地区の今昔写真展
期間/7月11日(水)～21日(土)
※15日(日)・16日(月)は休館日です。
場所/総合センター 玄関ホール

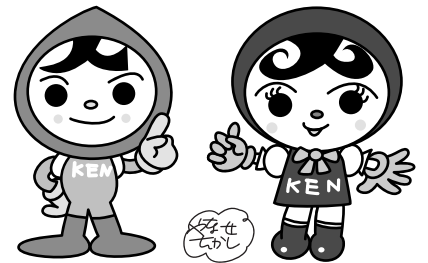
◆講演会

演題/「“差別をなくす”から“手をつなぐ”へ」
講師/岡本 工介さん
(環境教育事務所「コミュニティ・オブ・トリーズ」主宰)
日時/7月18日(水)
開場:午後7時
開演:午後7時30分
場所/総合センター 2階 大ホール



〔講師プロフィール〕

被差別部落というルーツで生まれ、10年にわたる旅の中でネイティブアメリカンとの生活や黒人解放運動の地への旅などを経験。故郷に持ち帰ったキーワード「虹」をカタチにするため、人権講演、人間関係トレーニング、自然と人をつなぐインタープリテーション(自然・文化・歴史(遺産)を分かりやすく人々に伝えること)など、子どもから大人までを対象に幅広く活動中。1979年4月生まれ。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

県の強調旬間

〔7月10日(火)～20日(金)〕

講演会など

日時 7月19日(木)午後0時45分
開場、1時5分開会
場所 高知県民文化ホール

★人権コンサート 午後1時15分
「ちよつと心をかしてくれませんか」

講師 宮崎 保さん

★講演 午後2時45分

「差別のない世の中をめざして」
講師 栗原 美和子さん



○お問い合わせ

本庁住民課 人権啓発係
43-2800(直通)
大方町民館 43-11204
大方児童館 43-3622
佐賀町民館・児童館 55-2108
教育委員会 人権教育係
55-3190(直通)